

風林火山空手道競技規定 グローブ組手部門

《試合時間・進行》

部 門	本 戦	延長再試合
1 幼年の部	1分30秒	1分
2 小学生 男子／女子の部		
3 中学生 男子／女子の部		
4 高校生 男子／女子の部	2分	
5 一般(社会人) 男子／女子の部		
6 社会人新人／社会人壮年		

◆ 幼・小・中は流し放しで1分30秒、高校生以上は計時を止めて2分とする。

※社会人新人とは、40歳未満(39歳まで)で茶帯になっていない者をさす。

※社会人壮年とは40歳以上で茶帯になっていない者をさす。

※軽量級～65Kg ◆中量級70Kg以下◆重量級70Kg以上を基準とする。

※ワンマッチの対戦は、参加選手の状況で設ける場合がある。試合時間 3分とする。

※延長戦後の判定は全てマスト判定で行う。但し、決勝戦のみ再延長2分を設ける。

※使用するグローブは、幼年・小学生ではジュニア用グローブとし、中学生以上は、14オンスのグローブとする。

※ファールカップは、全部門で必ず着用を義務とする。

※白の空手着を着用する。(男子は道着の下のTシャツ等不可。女子は白を着用)

《審判規準》

1 主審1名／副審4名をおき、主審も判定に加わり勝敗を決する。

2 本戦で勝負が決まらない場合は延長戦にて、双方の技術・気迫・注意、減点等の多少により決定し、判定は旗が半数以上揚がった方を勝とする。

3 ケガで戦意を喪失した場合、その状態を審判協議の上、後に残り時間内で再試合を行う。

《勝 敗》

☆ ノックダウン制ではなく技あり2本で一本勝ちとする。

1 一本勝ち／ 有効打が決まり、相手が3秒以上のダウンもしくは3秒以内にファイティングポーズが取れない時。

2 技あり／ 有効打が決まり、相手の動きが一時的に止まり、一方的な猛攻を受けた時。または、ダウンし立ち上がったが足元がおぼつかない場合。

《有 効 打》

☆ パンチ・キック・膝

1 あらゆるパンチによる顔面／ボディーへの攻撃。

2 あらゆるキックによる顔面／ボディー／下肢への攻撃。

3 ボディー／下肢への攻撃(高校、一般の部のみ顔面膝蹴り有効とする)

4 首支持からの膝蹴り／片手での膝蹴りは認める。両手の使用は反則。

5 反則箇所を除いた部位へのパンチ・キック・膝による的確な攻撃を同等に評価する。

《反則》

- ① 1回目は注意のみ減点なし、2回目は減点1で相手の技あり1。3回目は失格。
- ② 有効打にない攻撃。肘による顔面攻撃、背後からの攻撃、金的攻撃
※金的攻撃は故意の有無を問わず反則とする。

ダウンした相手への攻撃、投げ技・関節技、攻撃を伴わぬクリンチやホールディング
積極性に欠ける試合態度(故意に場外へ出る。逃げ回る。相手に背をむける等)

- ③ 両手による首相撲は反則とする。但し片手による首の引っ掛けからの膝蹴りは可。
- ④ 道徳上許されない攻撃、行為。(頭突き、噛み付き、首絞め、サミング、審判指示無
審判や相手選手への挑発的言動や行動、試合中にセコンドが試合場内に入る等)
※主審と副審協議により選手失格とする場合もある。

◆ 以上悪質な場合においてはこの他の反則も含め即刻反則負けとする

《注意事項》

- 1 参加人数が定員に満たない場合は、部門の統廃合をさせていただきますのでご了承下さい。
- 2 試合中、負傷または死亡事故が発生しても主催者は一切その責任を負いません。
- 3 野次、侮辱、罵倒、マットを叩いての応援等は禁止します。
- 4 空手着を着用すること。

グローブ組手 競技規定 細則

有効な攻撃

- 1 あらゆるパンチによる 顔面／ボディーへの攻撃。
- 2 あらゆるキックによる 顔面／ボディー／下肢への攻撃。
※高校、一般の部のみ顔面への膝蹴りあり。
- 3 首支持からの膝蹴りは片手の場合のみ認める。両手の使用は反則とする。
- 4 適正部位へのパンチ・キック・膝の攻撃は同等に評価する。

ポイントの説明

- ① あらゆるパンチによる顔面やボディーへの正確なヒット

⇒技あり

さらにその衝撃で頭部が動く、上体が乱れる、体が大きく後退する、態勢を崩す、転倒する等の場合

⇒一本勝ち

- ② あらゆるキックによる顔面やボディーや下肢への正確なヒット

キックとは前蹴り・横蹴り・回し蹴り・後蹴りなど、ボディーとは腹部・脇腹・胸など、下肢とは大腿部・下腿部の内、外側など。

⇒技あり

さらにその衝撃で頭部が動く、上体が乱れる、体が大きく後退する、態勢を崩す、転倒する等の場合

⇒一本勝ち